



1. 住民パワーをどう受止めるのか
2. 歩き楽しめる都市・街を
3. 都市廃棄物問題に抜本的改善策を

1. ここ数年来、公共事業に対する住民の反対運動が非常に盛んになり、事業施行者はその対策に頭を痛めている。「成田空港」「東京のゴミ焼却施設」「東北新幹線」等に対する反対運動が最近の新聞紙上等で報じられている。

これらの反対運動を行なっている人達の主張の大きなものの一つに、計画の決定に際して住民の意向が十分に組み入れられることなく、一方的に決定が行なわれ、事業が施行される」といういいぶんがある。もちろん、計画当事者は十分な調査に基づき最善の計画を然るべき手続きを経て決定しているはずであるし、また、各個人の利害をもととして共通の利害を有する人が団結して運動を行なう場合もあり、自分達さえ被害をこうむらなければよい、という考え方も数多く見受けられる。

とはいうものの、広がる住民運動に抗して施行することが公共事業の趣旨でも本意でもないとするならば、住民の協力を得て事業を推進する具体策をたてる必要がある。たとえば、計画決定に際して市町村や関係住民よりアンケートや公聴会等による意見聴取を行ない、調整可能な意見を取り入れると同時に、関係者に計画の全ぼうを理解させることが望ましい。都市化・市街化が進行する中であって公共事業を円滑に推進するための具体的な提案がなされ、実施される必要性を痛感している。 [S]

2. タクシーに乗ったら運転手が「お客さん、こんな近いところは歩きなさいよ。料金も 130 円が 170 円になったんですからね」といった。国鉄の運賃も 4 月から上がることになり、タクシーもいよいよ 2 月 5 日から値上げになった。それにしても、なんと街の中は歩きにくいことか。

赤坂見付の坂を議長公邸の前から下ってゆき、左へ曲がると自然に赤坂東急プラザの 2 階のフロアの前が出る。この 2 階の歩道には、ビルと同色の淡いピンクのカラータイルがはってあり、しゃれたショーウィンドーと、それをのぞいているきれいな女の人などがながめられる。

チャチな凱旋門があるのは多少興ざめだが、それでも雰囲気はでている。永田町側から赤坂側へ行くのには、同じ高さがあり、同じカラータイルがはってある幅の広い歩道橋を渡ればよい。

都内の歩道橋ではここが一番よくできていると思う。

都市計画者、ビルの設計者、そして歩道橋をつくる人々が協力して、都市の再開発、たとえば新宿副都心では、ビルの 2 階の高さにすべてがつながる歩道をつくり、街の中を歩きやすくできないものだろうか。地下街がよいのは雨の日ぐらいで、やはり太陽の下を歩きたいし、2 階のフロアをショッピング街にできればビルの利用価値も高まり、一挙両得だと思う。 [J]

3. 昨年、江東地区のゴミ運搬車により交通渋滞、生活環境の悪化等に端を発した都市廃棄物問題は、美濃部知事をしてゴミ戦争の宣言をさせるに至り、連日、新聞紙上に大きく取りあげられるようになった。

35 年来の高度経済成長によってもたらされた物的豊かさの代償として、廃棄物の量、質が増大、多様化したにもかかわらず、それへの対応が非常に不十分であったことに、この問題の主たる原因を見出すことができよう。

このような現状にかんがみ、政府部内においても、厚生省が廃棄物処理のソフトウェアを中心に新しい処理技術を加えた廃棄物処理システムの研究にとりくむことになり、また建設省では、都市廃棄物の輸送を物質流動の一環として把握し、その合理化の方策を検討するとともに、廃棄物処理に関連する諸問題に対し、都市計画面からの解決策を検討することになった。

現在の廃棄物問題は、非常に深刻な事態をむかえており、一自治体の手ですべて解決しうるものではなく、各方面からの検討の成果が期待される。